

エコパートナーくまもと  
平成17年度第2回企画運営委員会  
議事録

日時：平成17年6月30日（木）18：00～21：10

会場：熊本市役所駐輪場8階会議室

参加者：33人（会員27人〔水保全課1人、水道局1人〕、環境企画課6人）

【審議事項】（進行：山口委員長）

審議は審議事項2、3、4、1の順番で実施された。

2 企画運営委員会副委員長の選任について

欠員となっていたもう一人の副委員長には間澄子氏が推薦され、全会一致で承認された。そして、選出された間氏より「エコパの見直しを皆さんと協議しながら進めていきたい」との抱負が述べられた。

3 「第2次熊本市環境総合計画中間見直し市民会議」メンバーの選任について

事務局：（募集締切時点では応募者が少なかつたため重ねてお願いしたところ、最終的に14人の応募をいただいた。10人という枠がある関係上、調整をお願いしたい。）

複数名の応募があった各WG：（WG内で1名に調整していい。）

委員長：（応募のあった7つのWGから各1人、計7人とし、残り3人については、それ以外の応募者から選出するというところでどうか。）

全体：（了承）

4 熊本市環境教育・学習事業「買物ゲーム」の受託について

（事務局の説明）

環境企画課では、体験型環境教育の有効性を認識して、平成15年度から、市内の小学校3年生以上を対象として買い物ゲームを、ノウハウを有するNPOに委託して実施してきた。委託先の選定については、エコパートナーくまもとに加入しているNPOに呼びかけ企画コンペにより決定することとしており、その結果平成15・16両年とも、「緑のくらしネットワーク」に委託している。

平成17年度事業の委託に当たっては、次のような観点から「エコパートナーくまもと」に委託できないか問い合わせたもの。

- ・委託先の選定に当たっては、企画コンペに応じたNPOの中から最終的に1団体に絞る必要があったが、それぞれに長所をもっており、その有効性をかみ合わることができれば、更に効果的な買い物ゲームが実施できる可能性があること。
- ・「エコパートナーくまもと」の事業そのものを、新たに開拓していく必要があると認識していること。

（会員の意見）

- ・ いいチャンスなので積極的に受けてみてはどうか。

- ・ いいチャンスではあるが、時間的に余裕がないので今年は難しい。
- ・ 委託事業をエコパで今後受けていくかどうかをまず話し合うべき。
- ・ 受けるにしても、どういう形で受けるか検討が必要。
- ・ 受け方としては、組織全体で 主管を決めて プロジェクトチームで)

(結論)

今年度は、事業開始まで時間的余裕がないことから、来年度以降検討していくこととなった。

## 1 平成17年度役員体制について

(事務局から総会までの経緯について説明)

「エコパートナーくまもと」の役員は、その任期が2年と定められており、現在の役員については平成16年度第1回総会において選任されていることから、平成17年度は現在の役員に引き続きお願いするところであった。ところが副会長及び監事から辞任届が出たため、辞任者の所属団体からの推薦者を後任とする案を事務局(案)として第1回企画運営委員会に提案したところ、承認された。その後、役員会においても承認されたことから、総会の第3号議案として提出したが、全体の合意形成が不十分ということで承認されなかった。

(質疑)

会 員:(行政から理事が1名加わるという総会案は、単なる補充のためだけではなく、役員体制強化の意味合いもあったのではないか。)

事務局:(会長が役員会に出られないことが多いことから、その代役的意味合いで加えさせていただこうということであった。)

会 員:(現役員に、現状で役員会のどこに問題があるか伺いたい。)

現役員:(役員会の現状・役割について以下のような見解が出された。)

- ・ エコパ発足当初からほとんど機能していない。
- ・ 役員会だけで物事を決めたことはない。
- ・ エコパ発足時のメンバーということだけで名を連ねているのが現状。
- ・ 発足時、チェック機能を求められたのであるが、実際は機能してこなかった。
- ・ 協働を考えれば、存在すべきであり、その役割を確立すべきである。
- ・ パートナースhipを目指すのであれば円卓会議にすべきで、3~4者からなる代表制が望ましい。
- ・ 「エコパはどうあるべきか?」、「行政との協働がこの形でいいのか?」、「各WGがNPOとして独立できるような分岐点をどのようにもってくるか」等、議論・チェックする機関として役員会は必要。)

会 員:(今後1年かけて、役員会をはじめ組織のあり方を、皆が参加できる場で議論・検討しよう。)

委員長:(会員どなたでも参加できるこの企画運営委員会の場で、今後1年かけて論議していくということによろしいか。)

全 体:(拍手で了承。)

事務局:(今年度の役員会は現体制で運営することを確認)

委員長：(組織体制見直し担当を、間副委員長にお願いしてよろしいか。)

全体：(拍手で承認)

## 【報告事項】

### 1 「環境フェア2005」実行委員会について(事務局)

第1回実行委員会の開催案内、企画書案・サブタイトル案の提出要請、今後のスケジュールについての説明等が行われた。

環境フェアの開催日程・場所については、10月22日(土)・23日(日)に動植物園において開催することが了承された。

[第1回実行委員会]

- 日時・場所：平成17年7月28日(木) 19:00～、市役所駐輪場8階会議室
- 審議事項(案)
  - ・ 実行委員会組織体制について
  - ・ 「環境フェア2005」のサブタイトルについて(提出期限：7月25日)
  - ・ WG企画、全体企画提案(提出期限：7月25日)
  - ・ スケジュールについて 他 今後のスケジュール(案)

|            |                             |
|------------|-----------------------------|
| 7月25日(月)   | WG企画・関係各課企画、全体企画提出、サブタイトル提出 |
| 7月28日(木)   | 第1回実行委員会                    |
| 8月第1週      | 企画案の詰め(第2回実行委員会)            |
| 8月下旬       | 委託契約締結                      |
| ～10月17日(月) | 随時、実行委員会の開催(内容の決定等)         |
| 10月18日(火)  | エコパ・各課・業者による最終打合せ           |
| 10月21日(金)  | 会場設営                        |
| 10月22・23日  | 環境フェア開催                     |

### 2 平成17年度ワーキンググループ事業費の確認について(事務局)

今年度のワーキンググループ事業費は、現時点で251,000円が予備費扱いとなっており、事業予算を効果的に執行するためには現行枠の調整を行う必要がある。そのため、現時点でのWG事業計画・予算案を7月25日(月)までに提出していただきたい。

事業費枠が確定する前に予備費から執行する必要があるグリーン・コンシューマーWGの夏休み環境自由研究応援団のテント設営経費については、事務局の認証のもと執行することが了承された。

### 3 ホームページの掲載手順について(事務局)

「活動スケジュール・報告」、「WG紹介」、「WG活動報告(トップページ)」への掲載依頼方法の説明。

### 4 各ワーキンググループのイベント開催案内

- ・ 7月10日 「緑の回廊シンポジウム in 熊本城」(水と緑)
- ・ 7月11日 「環境ホルモン講演会&消費者と事業者の懇話会」(グリコン)
- ・ 7月23日 「第5回よかエネ市民学校」(よかエネ)